

情報セキュリティ対策を強化し 法務専門家としての信頼感が向上

情報セキュリティ対策


USER PROFILE
司法書士 黒森仁志事務所
【業 種】 サービス業

【事業内容】 司法書士事務所

【事業所】 埼玉県川口市

【従業員数】 7名（2018年1月現在）

2018年に開業9年目を迎える黒森仁志事務所様は、従業員7名を擁する司法書士事務所です。個人情報や数多く扱う業務であるため情報セキュリティ対策は必須でしたが、専任のICT担当者がおらず、対策は後手に回っていたといいます。そこで、安心して業務に専念できる情報セキュリティ対策を講じるため、NTT東日本の「おまかせサイバーみまもり」「おまかせアンチウイルス」などを導入しました。サービス導入の経緯と導入後の効果について代表の黒森仁志氏に伺いました。

お客さまが抱えていた課題

- 不正アクセスによる顧客データの漏えいなど、情報セキュリティ対策に不安があった
- 通信環境の不具合で業務が停止してしまう恐れがあった
- ICTに詳しいスタッフがおらず、パソコンや通信環境の不具合や故障時にどこに相談すればよいか分からなかった

導入サービス（2017年9月導入）

- おまかせサイバーみまもり
- おまかせアンチウイルス
- ITサポート&セキュリティ
- ギガらくWi-Fi
- フレッツ・あずけ〜るPROプラン
- 24時間出張修理オプション

サービス導入効果

- 不正アクセスをブロックしたレポートによりリスクが見える化できた
- ICT関連の困りごとをワンストップで相談できる窓口ができ、安心感が得られた

「パソコンの調子が悪いから明日にしよう」はできない

▶これまでのICTに関する課題をお聞かせください。

黒森氏 当事務所では不動産登記に関連する書類などを作成しており、センシティブな個人情報を扱います。契約の取引内容はもちろん、代表者の住所なども含まれるので、情報管理の徹底は司法書士のいろはの「い」です。紙の書類は事務所退出時に金庫にしまいますが、過去に作成した書類データなどはすべて業務用ソフトで管理して部外者には触れられないようにしています。しかし、近年、不正アクセスによる被害が増えているとの報道を受け、従来の対策だけでは不十分なのではと思うようになりました。ただ、情報セキュリティ対策の必要性はわかりつつも、専任のICT担当者をおいていなかったため、実際はパソコンにウイルス対策ソフトを入れる程度にとどまっていた。パソコンや通信環境に対する不安もありました。今は法務省もオンライン化を進めていて、登記の申請はすべてオンラインでできるようになりました。ただ逆に、業務のほとんどをパソコンで行うようになったため、パソコンに何かトラブルがあると業務が停止してしまいかねません。例えば不動産の売買で、購入される方が銀行の融資を申請している場合、こちらは必ず融資の実行日に合わせて抵当権や所有権の設定や移転登記を申請します。そうしないと銀行の融資が無担保状態になってしまったり、買ったはずの物件の名義が前の所有者のままだったりという状



司法書士 黒森仁志事務所
代表
黒森 仁志 様

況になってしまうからです。何があっても取引日に合わせて速やかに登記を済ませる必要があるため、「パソコンの調子が悪いから明日にしよう」というわけにはいかないのです。

パソコンとプロバイダー、プリンター、複合機などをそれぞれ別の会社からリースしていたので、問い合わせ先がバラバラだというのも悩みの種でした。実際にメールがうまく受信できなかったときに、パソコンのトラブルなのか通信回線の問題なのか不明で、どこに問い合わせればいいのかわからないという状況もありました。ですから、ICTに関する問い合わせ先を集約したいという希望はずっとあったのですが、何もできていないという状況でした。

とハードディスクの両方が壊れてしまった場合もクラウドからデータを読み出すことができるので、BCP(事業継続計画)面の強化もできると判断しました。さらに、以前の事務所ではパソコンはすべて有線で接続していたのですが、新事務所では「ギガらくWi-Fi」を導入し、ノートパソコンを持って席を移動できるようにしました。Wi-Fi経由での不正アクセスなどへの対策も施されている点を評価し、導入を決めました。

情報セキュリティ対策を一任できる安心感を評価

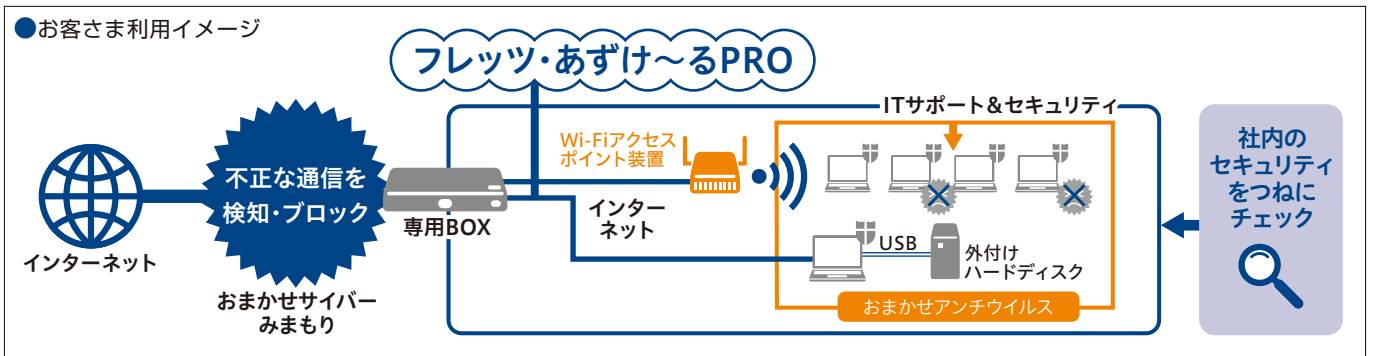
▶導入を決めた経緯をお聞かせください。

黒森氏 ちょうど事務所の移転が控えていて、その準備を進めている段階でICT環境の一新を検討しました。その過程でNTT東日本に新しい事務所の情報ネットワーク整備や情報セキュリティ対策について相談したところ、さまざまな提案をしていただけました。その中からネットワークセキュリティ対策では、通信状況をプロがモニタリングし、不正アクセスを監視してくれる「おまかせサイバーみまもり」を、個々の端末の情報セキュリティについては複数台を一括管理してくれる「おまかせアンチウイルス」を導入しました。また、オフィス全体の情報セキュリティ対策としては、「ITサポート&セキュリティ」を導入しました。ウイルス対策ソフトの動きを確認するなどのセキュリティ事故予防のほか、電話と遠隔サポートでICTトラブルへの対応してくれるので相談窓口が一元化できる点が評価できました。また、従来はパソコンのデータを外付けのハードディスクにバックアップしていたのですが、パソコンが不正アクセスなどで乗取られると、バックアップデータまで改ざんされる恐れがあったので、クラウド上にバックアップを取れる「フレッツ・あずけ～るPROプラン」も契約しました。地震などの自然災害でパソコン

失った信用を取り戻すことはできない

▶今回のサービス導入の効果をお聞かせください。

黒森氏 一番よかったのは安心感が得られたことですね。ICTに関する問い合わせ先が一本化でき、「24時間出張修理オプション」も付けたため、安心して業務に専念できるようになりました。「おまかせサイバーみまもり」では、定期的に不正アクセスをブロックしたレポートを送っていただけますが、これを見ると情報セキュリティに脅威が迫っていたことを実感します。これまで当事務所でデータ流出などが起きたことはありませんが、業界内では流出したデータを元に書類が偽造されて被害が出ているような事件も発生しています。多額の補償問題に発展することもあるため、業界では個人情報流出に備えた保険に加入するのが一般的です。しかし、保険で金銭面はリカバリーできたとしても、失った信用を取り戻すことはできません。司法書士には法務の専門家としての責任が求められますが、お客さまの個人情報や取引に関する情報を守ることも、その一環であると思っています。今回の導入で通信環境のランニングコストはわずかに上昇しましたが、すべてをお任せできていること、業務に専念できる安心感を得られたことを考え合わせれば、十分見合うものだと思います。



※文中記載の会社名および製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。
 ※文中記載の組織名・所属・肩書き・取材内容などは、すべて2018年1月時点（インタビュー時）のものであります。
 ※上記事例はあくまでも一例であり、すべてのお客さまについて同様の効果があることを保証するものではありません。

導入いただいたサービスについて詳しくは <https://flets.com/cybermimmomori/> <https://www.ntt-east.co.jp/business/service/> **おまかせサイバーみまもり** **検索**

お問い合わせ : case_study-ml@east.ntt.co.jp